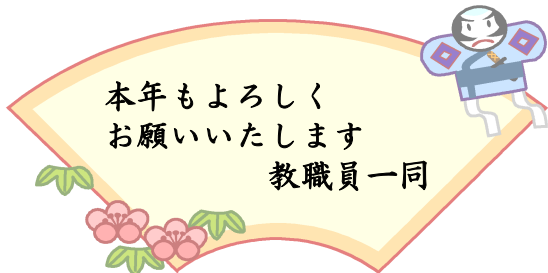


しぐじい

「叱られるから」から価値へ

校長 西山 守

保護者・地域の皆様には、よい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。



さて、今日は教育の根幹に関わる問題について考えたいと思います。(大上段に構えすぎかもしれないかな?)

電車の中でみた光景です。

子どもが車窓から景色を見て騒いでいました。見かねた人が子どもに注意をしました。しばらくすると、母親らしき人がさらに注意しました。「こわい人に叱られるんだから、静かにしないとだめよ!!」

これについて、とても懸念されることがあります。それは、「こわい人に叱られるんだから」の部分です。

この子たちが、叱られるからやらないではなくて、他人に迷惑をかけてしまうからやらないと思える人になれるかどうかです。

この子たちは、大きくなったときに自分の心の中に「他人に迷惑をかけない」という価値をもつことができるだろうかということがとても不安です。

小さな子は、「お母さんがダメと言ったからやらない。」というレベルです。

これは当然のことです。

この段階をしっかりと踏まないといけません。乳児期から愛情をかけ関係性を強めた上で、だめなことはだめと感じさせることです。(世間一般では、最近、このこともあまりできていないと言われますが…)

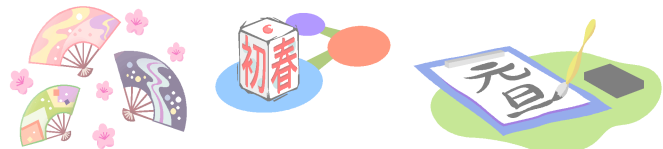
子どもは、当然、叱られるのを避けるために、言いつけを守ります。

しかし、それだけでなく、もう少し大きくなったら、何故そうしなくてはいけないのか考えさせる機会を設けることが肝要です。そうすると「ああ、これはこのような価値があることなんだ。」と考えることができると思います。そして、価値を追究し具現化できたときに、大いに称賛してあげることが有効です。そうすることによって、価値の追究が、心地よさ(報酬)となり、自分の心(脳)に定着化し行動の基準となります。

そうでないと、叱られないならやっても平気ということになりかねません。すると、感情がそのまま行動の基準になってしまいます。それは、教育の目指すところとはかけ離れています。

感情に支配される世界から、豊かな情操をもち、論理・思惟・意志を志向する世界へと踏み出させることが教育の根幹の一つです。

1月の行事予定



- 9日(火)始業式 給食始 委員会活動(5時間目)
- 10日(水)発育測定(6年)
- 11日(木)発育測定(5年) 登校指導 安全指導
- 12日(金)発育測定(4年)
- 13日(土)学校公開 校内書きぞめ展始(26日まで)
- 15日(月)発育測定(3年)クラブ活動
- 16日(火)発育測定(2年) たてわり班活動
- 17日(水)発育測定(1年)
- 19日(金)ベルマーク回収

- 20日(土)連合図工展始(25日まで *22日は休館)
- 22日(月)クラブ活動(3年生見学)
- 24日(水)午前授業(校内研究会のため)
(3の1は5時間目あり)
- 25日(木)社会科見学(5年)
- 27日(土)連合書きぞめ展始(28日まで)
- 29日(月)委員会活動
- 30日(火)P T A運営委員会

校内書きぞめ展（1月13日～26日）

冬休み中にも、書きぞめの練習に取り組んだことと思います。1月に学校で書きぞめを行い、作品を廊下に展示します。また、練馬区立練馬美術館に練馬区の小中学校の優秀作品を展示します。

校内書きぞめ展

平成30年1月13日（土）～1月26日（金）
ご都合のよいときに御来校いただきご覧ください。

連合書きぞめ展

練馬区立練馬美術館 2階
平成30年1月27日（土）、30日（日）
10:00～18:00 [入場は17:30まで]

お手伝い探検発表会報告（2年）

生活科「この町大すき！石じい大はっ見！」の学習で、11月にインタビュー探検やお手伝い探検をしました。12月には、そこで学んだことを報告する発表会を行いました。クイズや、本の読み聞かせ、実物を使ってお客さんに体験してもらうグループなど様々な工夫をし、たくさん練習しました。当日は、おうちの方や、お世話になった施設の方に見に来ていただき、とても嬉しそうにしていました。一年生もお客さんとしてきてくれ、一生懸命頑張る姿を見ることができました。



大根の収穫報告（5年）

12月6日（水）、5年生が富岡さんの畑で大根の収穫体験をさせていただきました。10月に間引きした頃に比べ大きく生長した大根を抜くことに苦戦している子も多く、農作業の大変さを学びました。同時に、収穫したときの喜びも感じました。また、市場には出回ることのない面白い形をした大根もたくさん見付け、貴重な経験となりました。お土産にいただいた大根は、各家庭でみそ汁や煮物にしておいしくいただきました。

収穫に至るまで協力していただきました富岡さん、ありがとうございました。今回で学んだことを「食～ありがとうをつなげよう～」の学習へつなげ、食材をつくる方の思いや調理する方の思いを、石神井小のみなさんに伝えていきたいと思ひます。



社会科見学報告（4年）

12月8日（金）に森ヶ崎水再生センター（大田区）と中央防波堤（江東区）に社会科見学に行ってきました。森ヶ崎水再生センターは、我が国最大の水再生センターです。家庭排水や雨水を微生物の力を借りて、魚がすめる水質にして東京湾に放流していました。中央防波堤では、ごみの処分の仕方を学び、最終処分場を実際にバスで走って見学させて頂きました。新海面処分場は、その場所の大きさに本当に驚いていました。私たちが生活をしていると必ず出てくるごみや家庭排水。それを処理して生活や環境を守って下さっている方達のお仕事を体験、肌で感じる事ができました。



幼保小交流会報告（1年）

12月13日（水）に下石神井第三保育園の園児たちを招待して、秋祭りを行いました。どんぐりやまつぼっくりなど秋の宝物を使って、迷路屋さん、アクセサリー屋さん、輪投げ屋さん、どんぐり箸つかみ屋さんなど、園児たちに楽しんでもらえるようにお店を考えて準備を進めてきました。

当日は、園児たちに「お兄さんお姉さんが優しく教えてくれてうれしかった♪」と言われて、一回り二回りも成長した姿を見ることができました。とても楽しい1日になりました。



農家見学報告（3年）

3年生の社会科では、「練馬区で働く人々」として、農家の仕事について学習しました。農業は私たちが生きていくうえで欠かせない食料を生産する仕事です。また、東京都内で農業を行う難しさもあります。今回、3年生は地元で農業を続けていらっしゃる富岡さんの畑に行って、どのような仕事をしているのかお話を聞いたり、畑や道具を見せていただいたりしました。おいしく、みんなに喜んでもらえる野菜を作るための工夫や努力をわかりやすく教えていただきました。

連合音楽鑑賞教室報告（6年）

最初の曲が鳴り出した瞬間から、生の音の迫力と美しさに引き込まれていました。親しみのある語り口で、曲や楽器の解説をしてもらい、オーケストラ全体の様子が見渡せる席での鑑賞には、多くの発見と感動がありました。「ビリーヴ」の歌声が気持ちよく響き、ホールを出る時には、自然に感謝の言葉が出ていました。